

光明禅寺

第489号

令和五年六月

現在に活きる
仏の教え

手を無心に動かしていると、心に元気が戻ってくる。

どの方向にスタートするかは問題じゃないんだ。

どっちにしろ、いつでも向かい風が吹いてくるんだから。

生命は死によって失われるのではなく、時々刻々に失われているのだ。だから今が大切なんだ。

最終的に人が必要とするのは、智慧ではなく、覚悟である。

電話 1P
221-4127
(4191)
090-7981-9123
FAX 241-3519

(県・市文化財指定安置所)
〒810-0403 福山市十町南迫田二七六八

六月の行事

一 晓天生禅

来一 日曜(四日) 朝六時
才三日曜(十八日) 朝六時

一 祠堂永代経法要

十五日 二時

一 地藏尊・水子供養

二十三日 二時

お知らせ

檀家に入会して下さった 新人の方を御紹介をいたします。

南迫田地区の野口タエ子様が護持会費を二年度分納入して下さい檀家になりました。

檀家とはお葬式を出した、お寺を菩提寺といひます。そのお寺を末永く、御先祖様をお守りする為にお寺でありますので、お寺を守る会費です。お葬式を出した方で、護持会費を未納の方は、再度檀家に入会してくださることをお願い申し上げます。

訃報

南迫田地区の豊田 純雄様が病氣療養中でしたが、五月二十三日94歳を以て永眠致しました。

ここに故人の御冥福を切にお祈りします。

檀信徒研修会についてお知らせ

令和五年六月二十四日(土)

開場 13時 / 開演 13時30分 ~ 16時

開催場所 出水市「マルマエ音楽ホール」

お会なされる方は、菩提寺(光明禅寺) 6月3日まで連絡ください。

祠堂永代経について

今月15日は 祠堂永代経の日です。

永代経は特別志納金、永代供養料を、納められた方で、寺の続くかぎりその御先祖様を丁寧にお供養する日です。忠徳を偲び、その慈恩に

報いる法会です。つねにひごろのご無沙汰をわびながら、自分がこの世に生きてくるのは、御両親、御先祖様のお陰です。又今しあわせにくらべているのも、御先祖様のおかげです。その供養に報いることです。御先祖様を大切に「ホトケ様」はこまみます。昭和生れの方がいなくなる。どうなるのかな？と思えます。又自分の為に子供はわからぬので、自分の永代経にはいつておくと言って申込れる方もいらつしやいます。信仰者の方はそうです。未来はスマおだけにたよるのは如何かな？又今この世の中はコロナでますます希薄になつていくのではないのでしょうか。御先祖様の御供養はなつておられますか？

・ここに
一休さんは本当は一休禪師という禪のお坊さんです。一休さんの遺言として伝えられている言葉があります。「今死んだところへもいかぬ、ここにおる、たずねはするな、ものはいれぬぞ。自分は今、死んだ。訪ねてきて、声をかけても返事はしないぞ。だけど、何処にもいっていない、ここにすつといるんだよ。私たちが死ぬということは、「娑婆の縁」が尽きるという事です。でも一休さんのおかあさんが、半紙の中で使われている「やがて娑婆の縁が尽きて人間の考えではない、世界に行く」というのは、命がなくなるという意味ではなく、「娑婆を抜け去り、涅槃の世界に行く」という意味でしょう。

お釈迦さまから正しい教えを受け継いだという証拠として、お弟子としてののお名前、お戒名がつけられています。お戒名は死んだあとの名前ではなく、お釈迦さまのお弟子つまり仏弟子になったという証の名前です。

・神様 昔 お国のためにと死にいといだ 若者たちがいいた今 いじめを苦にして 自殺していく子供たちがいる 神様は生きる勇氣を どうして 与えてあげなかったの 戦争の仕掛人 いじめる人たちを貴方の力で 跪ひざまずかせて

花は愛情に散り
草は棄嫌におふるのみなり

此心天つ座そらにも花そなふ
三世の仏にたてまつらん

生死しょうい去来こらい

眞実しんじつの★

雨風の恩めぐみを染め出す紅葉もみぢかな

朝日行つ草葉の露のほとなきに
急な立ちそ野辺の秋風

大聖だいしょうは生死しょういを心にまかせ

生死を身にまかせ
生死を道にまかせ
生死を生死にまかせ